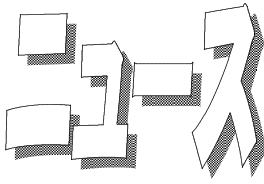


2012年 旗びらき

三八地労連 2012 年新春旗びらき集会は 1月13日(金)午後6時半から、三八教育会館大ホールで開催されます。ここしばらくは1階中ホールでの開催でしたが、中ホールが使用中のため、三八教育会館でおそらく最後となる旗びらき集会は、大ホールでの開催です。

チラシが届いていることと思いますが、地労連幹事会はそこで、「被災地での苦しい状況とは裏腹に、民主党・どじょう内閣は、自らのマニフェストに背き、国民裏切りの危険な政治を進めています。予算・消費税増

三八地労連



三八地方労働組合総連合
発行●2011年12月9日
・第124号●八戸市柏崎
1-10-34 対馬治療院2階
☎・Fax 0178-47-8886

税、年金支給開始年齢の繰上げ、TPP参加、普天間基地移設問題、地域主権改革など、挙げていったらきりがありません。いまこそ私たちが声を上げ、中止

旧社保庁職員の 不当解雇問題を考える夕べを開催

11月24日、三八教育会館で旧社保庁職員の不当解雇問題を考える学習と交流の夕べが開催され、全厚生闘争団二人と青森県労連田中副議長を迎え、地域の労組・団体から25人が参加しました。

全厚生闘争団事務局次長の国枝孝之さん(写真右)は、不当解雇問題について次のように報告し、支援を訴えました。
旧社会保険庁の廃止にとともに、525人の整理解雇(分限免職)が強行されました。雇用を守るべき厚労省が行った、理由も必要性もない不当な解雇です。育児休業中の人や病休中の人、身に覚えのない業務目的外の閲覧を理由に懲戒処分を受け整理解雇された人もいます。解雇された全厚生組合員39人は、人事院に対する審査請求を行い、解雇

と撤回を求めていくときです。新しい年 2012 年の始まりにあたり、思いと願いを交流し、連帯を強めて、三八地労連の活動前進とお互いの組織と運動前進への決意を固めたいと思います。お忙しい中とは思いますが、組合員のみなさんの参加を要請します」とアピール、参加を訴えています。

を撤回させるために、全厚生闘争団として団結して活動していきます。年金業務を受けついで日



本年金機構の職場は、6割が非正規職員で経験と知識が蓄積されずサービスの低下が深刻です。帰る職場を変えることも必要です。単なる解雇撤回としてではなく、公務サービスを守り、働くものの権利を守る運動を進めたいのです」と語りました。

全厚生秋田の保坂一寿さん(写真左)は、当局が行ったあいまいな「業務目的外の閲覧」調査によって整理解雇された経緯を語り、理不尽なやり方への憤りを述べました。

交流会では、激励の発言が相次ぎました。「直接話を聞いて問題の本質が分かった」、「今の状況はとても悔しい」との社保庁退職者の発言や職場で差別と闘った金融労働者の激励もありました。最後にうみねこ合唱団メンバーのリードで、がんばろうと上を向いて歩こうを一緒に歌って散会となりました。

団体交渉で手当増額へ 八戸医療生協労組

11月14日、八医券(八戸医療生協労組)は冬季一時金をめぐる団体交渉を行いました。組合側からは31人が参加しました。

昨年は1.5月だった一時金が1.0月の提示だったので職場の不満の声が大きい、その後+0.2月としたことは評価するが何として

も1.5月の支給を求めたいと述べ、生活の問題や震災で車を失って大変なこと、仕事の負担が増しているのに一時金が減るのは納得できないなどと発言、いっそうの改善を求めました。理事者側はこの要求について12月5日、さらに0.1月を増額して1.3月とすることを回答。組合側は組合員の意見に基づき、要求との差額は3月に年度末一時金の受け入れを決めました。

なお、交渉については三八地労連 Web にも掲載しています。

【地労連・当面の日程】

- 12月12日 2012 春闘前期総会
年金者組合三八支部委員、13:30 長者公
- 12月14日 地労連幹事会⑥
18:30 三八教育会館
- 12月17日 県労連評議員会
13:30 ローフク会館
- 12月21日 消費税街宣
13:30 三春屋前
- 12月24日 生存権裁判を支援する会街宣、13:30 三春屋
- 12月28日 事務所大掃除
12/29、1/3 事務所閉鎖
- 1月7日 県労連旗びらき
- 1月9日 6・9 行動、13:00
コープあおもり類家店
- 1月13日 地労連旗びらき、
18:30 三八教育会館

いい一日行動

全医労八戸支部は芋煮の愚痴り屋

11月11日、全医労(全日本国立医療労働組合)は全国統一行動を行いました。職場の問題を調べ、語り合い、仲間を増やし、団結を深めるための行動に取り組みます。昨年は11月12日に行



いました。語呂合わせで「いい一日」行動なのだそうです。今年は12日が土曜日なので11日の実施となりました。

行動の中で「福島の子どもたちを放射能被害から守るための署名」取り組んでもらいたいと思つて組合事務所に参加した。事務所は「愚痴り屋」の設定、入り口には各種署名が置かれ、中では芋煮の準備をしていました。一旦カメラをとりに戻

り、組合員が集まるお昼時に再度訪問して、みなさんの写真を撮ることができました。また、とてもおいしい山形の芋煮とおにぎりまでいただくことができました。芋は地元のもので、牛シビと芋煮用の醤油は福島から送ってもらったのだそうです。昼休みの時間がまちなちなの

八戸原水爆禁止の会 ちひろカレンダー販売中



八戸原水爆禁止の会は、年末恒例の取り組みとして、ちひろカレンダー販売に取り組んでいます。ちひろの死後2年目の2011年、ちひろカレンダーは、原水爆禁止日本協議会の呼びかけに応じて誕生しました。各ペ

しゃべりをしながら芋煮を楽しみ、愚痴を書き込むための葉っぱを受け取って帰って行きました。芋煮は30人分用意したそうですが、もつと集まったかも知れませんが(交代勤務の職場なので全員が集まるのは難しいようですが)。このとき撮影した上とは別の写真が、全医労しんぶん1面に掲載されました。



ージには、ちひろの絵とともに、「3・11ピキニデー」「憲法9条は世界の宝」「国連軍縮週間」など、その月にちなんだ、平和についてのメッセージが書かれています。ちひろカレンダーは、「核兵器のない平和な世界を」「軍事費より子どもたちの命を」との思いをこめて、人々の手から手へ、平和への願いを伝え続けています。

普及にご協力を!(地労連への注文可 ☎47-8886)

11月30日、三八地労連は八戸市長に対し、2012年自治体要望書を提出し、2012年1月末までの回答を求めました。自治

体要望書は各組合と組合員の意見を元に原案を作成、さらに各組合の意見を聴取した上で確定したものです。市の予算編成を意識して、最近はこの時期の提出にしています。

【参考】原発安全神話の出発点

文京区九条の会 7周年記念集会での代表挨拶

私たちの会は「日本国憲法の九条を守ることを目的としその一点で思想信条立場の違いを超えて手をつなぎ活動を続け七年目に入りました。

よびかけ人84名機関紙「会報」二〇〇部で出版した会は現在二八〇名会報四ページ建て二〇〇〇部約月一回発行・発行回数49号を数えることになり、会報

読者数は、文京学区世帯数の過半数を超えるまでになりました。このことはひとえに会員や読者のみなさまのあたたかいはげましや率直なご意見ご批判などで文京学区九条の会を育ててくれたと確信するしだいです。

(中略)
政府は一九六〇年に茨城県東海村で五十万キロワットの原発の重大事故を起こした際の被害推定を行っていた事実が明らかになりました。それは月刊誌「前衛」十月号で明らかにされました。

た。「大型原子炉の事故の理論的可能性及び公衆損害額に関する試算と題するレポートです。この結果は恐るべきものでした。被害の推定では死者数百人、放射能障害者数千人。さらに四百万人に放射能被害による要観察者が生じ損害額は当時の国家予算の二倍以上三兆七三〇億円にのぼるものでありました。政府はあまりの衝撃的な被害の大きさにおののいて国会にも国民にも被害推定を隠し続けました。何と三十九年間隠し続けたのです。このレポートが一九六〇年に正直に公開されていたら日本に54基もの原発は作ることが出来なかつたでしょう。

原発事故の恐るべき危険を知りながら都合の悪いことは国民に隠す。原発は安全だという安全神話を垂れ流して国民に原発を押し付けた歴代政権の罪はあまりにも深く、真実を隠蔽しウソと虚構の上に作られた原発はなくすしかないと考えます。みなさん、私は原発の安全神話の出発点はこのレポートを隠すことから始まったと確信するしだいでありませう。(以下略)

追記 弘前市の文京区九条の会事務局長色摩(しかま)さんから会報をいただきました。掲載された貴田岡代表の挨拶の一部をお二人の了解を得て転載します。(新岡)